

阪神淡路大震災追悼式

1月16日(月)午後7時よりNY日系人会館において、北東アメリカ兵庫県人会「CLUB GO!」(兵庫県ワシントン州事務所所管、2010年設立、会員数約300名)主催による「阪神淡路大震災22年」追悼式が開催されました。多大な被害をもたらした「阪神・淡路大震災」から22年を迎え、「CLUB GO!」では、2010年から阪神・淡路大震災の犠牲者への追悼式を開催し今年で8回目になるそうです。

ちょうど今回、岩手県陸前高田市の団体「桜ライン 311」

(<http://www.sakura-line311.org/>)の岡本翔馬代表と友人で通訳として同行の盛岡出身の佐藤慧さんの二人がNYに滞在中でしたので声を掛け一緒に参加しましたが、団体の活動についてお話しする時間をいただく事が出来、会場の参加者から質問攻めにあっていました。

来年からは兵庫県人会としての追悼式ではなく、「全国安全の日の集い」という形式にして多くの方が広く参加出来るような行事に変えていきたい。という兵庫県人会会長のお話がありましたが、今回は、東北各県の県人会に加えて、九州の県人会も参加されていたので、被災県同士の横の繋がりが強固になっているのを感じました。

以上、追悼式に参列下さった佐々木まり子幹事からのレポートを投稿させて頂きました。1995年(平成7年)1月17日に発生した阪神淡路大震災では、6,434人の尊い生命が奪われて居ります。この追悼式には、東日本大震災後、毎年“ほくほく会”(東北6県+北海道連合)の各県代表がご招待を受けて居ります。また、ほくほく会が毎年開催している東日本大震災追悼式には、兵庫県人会の代表の方に、ご参列頂いております。



NY 岩手県人会名誉会長・岩崎雄亮さんからのご投稿 (2017.1.17)